

# 2025年3月期 第2四半期 決算説明会

---

2024年11月7日

富士フイルム ホールディングス株式会社

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

## 2025年3月期 第2四半期

### 1 | 決算ハイライト及びトピックス

富士フイルムホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO **後藤禎一**

### 2 | 連結業績及び事業概況

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

## 2025年3月期

### 3 | 連結業績予想

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

# 2025年3月期 第2四半期 決算ハイライト及びトピックス

01

## 2025年3月期 第2四半期 決算ハイライト

## 2025年3月期 第2四半期(7~9月期)連結業績

(為替レート: 2Q 米ドル=149円 | 対前年 + 4円, ユーロ=164円 | 対前年 + 7円)

過去最高

売上高

7,657 億円

対前年

(↑ +5.2%)

過去最高

営業利益

734 億円

(↑ +0.1%)

当社株主帰属  
四半期純利益

496 億円

(↓ -16.2%)

- 売上高は、エレクトロニクス、イメージングの販売好調や為替影響等により過去最高を更新
- 営業利益は、販売好調なエレクトロニクス、イメージングが増益となり、一時費用増加等で減益となったヘルスケアや、複合機の主要欧米OEM顧客の在庫調整等により減益となったビジネスイノベーションをカバー、為替影響も寄与し過去最高を更新
- 当社株主帰属四半期純利益は、為替差損や投資有価証券評価損等、営業外費用の増加が影響し減益

## 2025年3月期 上期(4~9月期)連結業績

(為替レート: 上期 米ドル=152円 | 対前年 +10円, ユーロ=166円 | 対前年 +13円)

過去最高

売上高

15,147 億円

対前年

(↑ +9.1%)

過去最高

営業利益

1,356 億円

(↑ +8.0%)

当社株主帰属  
四半期純利益

1,103 億円

(↓ -2.9%)

- 上期累計についても、売上高、営業利益が、それぞれ過去最高を更新
- 売上高は、エレクトロニクス、イメージングの販売好調や為替影響等により増収
- 営業利益は、エレクトロニクス、イメージングが増益となり、一時費用増加等で減益となったヘルスケアをカバー、為替影響も寄与し増益

## 2025年3月期 第2四半期 決算ハイライト

## 2025年3月期 通期連結業績予想

(為替レート： 通期 米ドル=149円, ユーロ=163円)

過去最高

売上高

31,500 億円

過去最高

営業利益

3,150 億円

過去最高

当社株主帰属  
当期純利益

2,500 億円

## ポイント

- 〉 前回予想(8/7公表値)を**据え置き**
- 〉 売上高、営業利益、当社株主帰属当期純利益ともに**過去最高更新**を目指す
- 〉 年間配当は、**15期連続増配**となる60円/株を予定

〉 事業拡大に向けた**成長領域の取り組みを推進** (→) **決算トピックス**

- バイオCDMO | デンマーク拠点における新規大型プラントの稼働開始
- 半導体材料 | 先端半導体材料の開発・生産強化のための設備投資

## 2025年3月期 第2四半期 決算トピックス 1/3

## バイオCDMO


デンマーク拠点の新規大型プラント(第1次投資)が、11月第1週より稼働開始  
高い生産性と各種認証取得実績を有する既存プラントのトラックレコードをベースに、新規プラントを各拠点に展開

大型タンク(2万ℓ)の展開スケジュール

FY2024上期

FY2024下期

FY2025

 **デンマーク 既存プラント | 6基**  
生産効率向上により  
上期として過去最高の売上高を記録

売上高実績 (USD ベース)

CAGR 約 **12%**  
FY2021上期 → FY2024上期

**98%超**

バッチ成功率  
(FY2024上期)

**40**

承認数(累計)

**100%**

当局承認率

FY2021上期

FY2022上期

FY2023上期

FY2024上期



 **デンマーク 新規プラント(第1次) | 6基**  
11月第1週より稼働開始





高い生産性と各種認証取得実績がある既存設備の設計・設備を共通化し、他拠点に展開するアプローチ



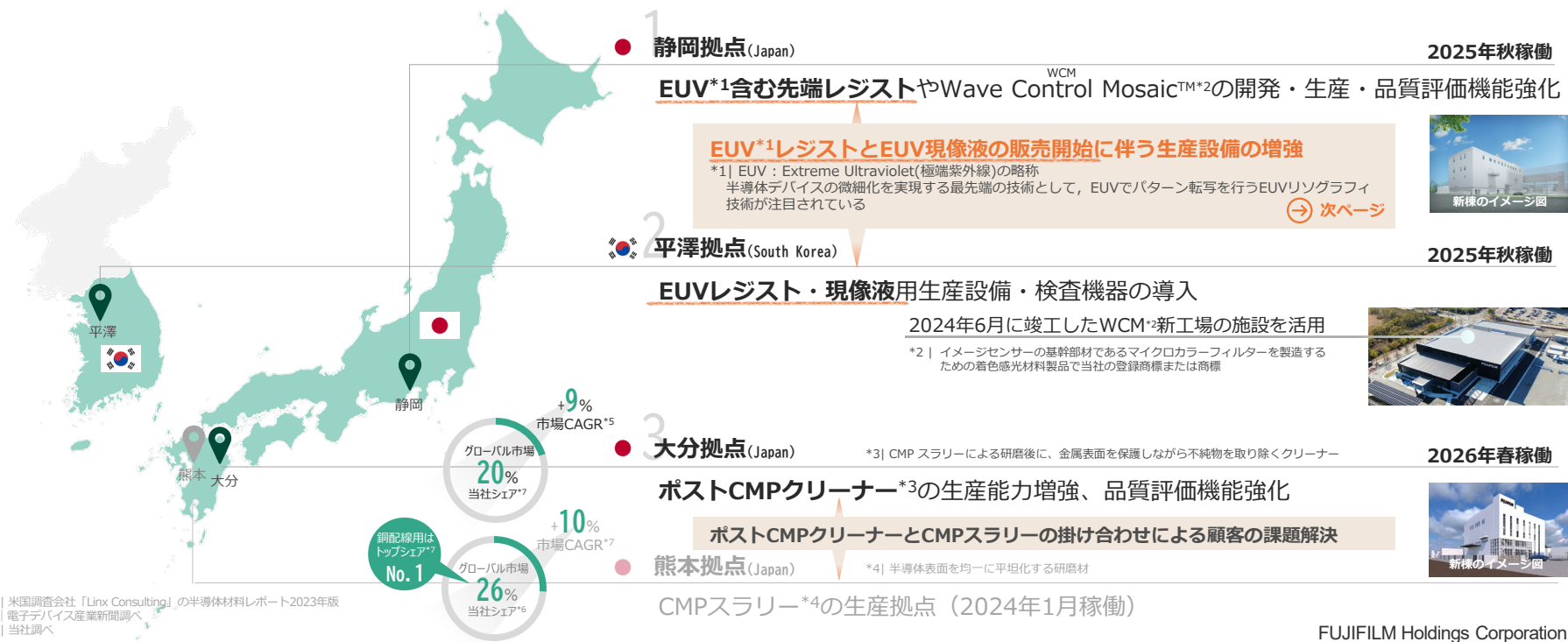


**ノースカロライナ州 新工場(第1次)**  
CY2025 後半の稼働に向けて  
順調に工事進捗中



## 2025年3月期 第2四半期 決算トピックス 2/3

## 半導体材料

半導体材料事業をさらに拡大するため、日本および韓国の開発・生産拠点に総額200億円以上を投資し  
先端半導体材料の開発・生産・品質評価などの設備を増強する

\*5 | 米国調査会社「Linx Consulting」の半導体材料レポート2023年版

\*6 | 電子デバイス産業新聞調べ

\*7 | 当社調べ

## 2025年3月期 第2四半期 決算トピックス 3/3

## 半導体材料

当社開発のネガ型現像工程のNTIプロセス\*1に対応するネガ型EUVレジスト・EUV現像液を  
組み合わせて提供し、半導体のさらなる微細化に貢献

\*1 NTIプロセス(Negative Tone Imaging プロセス)

当社が世界で初めて開発・実用化に成功したネガ型レジストの現像工程で現在広く普及しているプロセス

## ネガ型(NTI)プロセスのEUVレジストとEUV現像液の販売開始



\*2 |富士キメラ総研 「2023 先端/注目半導体関連市場の現状と将来展望」

\*3 | 当社調べ



## 2025年3月期 第2四半期 連結業績及び事業概況

02

\* 本決算から、本資料における各項目の記載金額は一億円未満を四捨五入して表示する形式に変更したことにより、過去に開示した数値との若干の差異や、内訳とその合計の不一致が生じている場合があります。  
%は、実際の金額を基に算出しています。

## 2025年3月期 第2四半期 業績

(単位：億円)

	2Q					上期				
	2024年3月期	2025年3月期	対前年度	為替影響	為替影響除く	2024年3月期	2025年3月期	対前年度	為替影響	為替影響除く
売上高	7,277 100.0%	<small>過去最高</small> 7,657 100.0%	380 +5.2%	138	242 +3.3%	13,885 100.0%	<small>過去最高</small> 15,147 100.0%	1,263 +9.1%	651	612 +4.4%
営業利益	733 10.1%	<small>過去最高</small> 734 9.6%	1 +0.1%	37	-36 -4.9%	1,255 9.0%	<small>過去最高</small> 1,356 9.0%	101 +8.0%	169	-69 -5.5%
税金等調整前四半期純利益	828 11.4%	686 9.0%	-141 -17.1%	-44	-97 -11.8%	1,521 11.0%	1,404 9.3%	-117 -7.7%	113	-230 -15.1%
当社株主帰属四半期純利益	591 8.1%	496 6.5%	-96 -16.2%	-30	-66 -11.1%	1,136 8.2%	1,103 7.3%	-33 -2.9%	78	-111 -9.8%
EPS	49.14円	41.17円	-7.97円	<small>&lt;その他増減要因 (対前年度)&gt; 営業利益における 原材料価格影響： -27億円 (半導体等の部材価格は含まず)</small>		94.36円	91.61円	-2.75円	<small>&lt;その他増減要因 (対前年度)&gt; 営業利益における 原材料価格影響： -63億円 (半導体等の部材価格は含まず)</small>	
為替 ：米ドル ：ユーロ	145円 157円	149円 164円	4円安 7円安			142円 153円	152円 166円	10円安 13円安		

2025年3月期 第2四半期

## セグメント別 連結売上高 | 営業利益

(単位：億円)

売上高	2Q						上期					
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く		2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ヘルスケア	2,414	2,429	15	+0.6%	-36	-1.5%	4,482	4,720	238	+5.3%	8	+0.2%
エレクトロニクス	827	1,087	260	+31.4%	241	+29.2%	1,618	2,178	560	+34.6%	464	+28.7%
ビジネスイノベーション	2,897	2,877	-20	-0.7%	-61	-2.1%	5,593	5,677	84	+1.5%	-98	-1.8%
イメージング	1,139	1,265	126	+11.0%	98	+8.6%	2,192	2,572	380	+17.4%	238	+10.8%
合計	7,277	7,657	380	+5.2%	242	+3.3%	13,885	15,147	1,263	+9.1%	612	+4.4%

営業利益	2Q						上期					
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く		2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ヘルスケア	315	188	-127	-40.3%	-138	-44.0%	418	222	-196	-46.9%	-243	-58.2%
エレクトロニクス	101	195	95	+94.2%	89	+88.1%	198	396	198	+99.9%	167	+84.5%
ビジネスイノベーション	153	108	-45	-29.3%	-47	-30.7%	319	253	-66	-20.8%	-88	-27.7%
イメージング	261	337	76	+29.2%	59	+22.5%	495	662	167	+33.8%	96	+19.5%
全社/連結調整	-96	-94	2		2		-175	-177	-2		-1	
合計	733	734	1	+0.1%	-36	-4.9%	1,255	1,356	101	+8.0%	-69	-5.5%

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。  
また、それに伴いセグメント単位での一体運営が進んだ状態を鑑み、各セグメントの売上高及び営業利益をセグメント間取引消去後の金額に変更しております。  
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

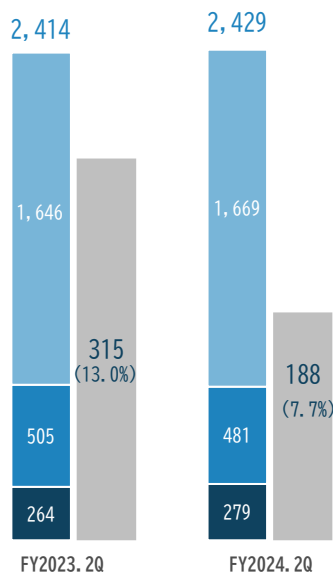
2025年3月期 第2四半期(2024年7月～2024年9月)

## セグメント別概況：ヘルスケア

売上高は、メディカルシステム、LSソリューションにおいて増収。営業利益は、バイオCDMOのテキサス拠点における商用製造拡大に向けた体制強化費用の計上や、LSソリューション（医薬品事業）の前期に計上した一時収益の反動による影響等を受け減益

対前年比  
売上高 ↑+0.6%  
営業利益 ↓-40.3%

(億円)



■ | メディカルシステム  
■ | バイオCDMO  
■ | LSソリューション  
■ | 営業利益(率)

## メディカルシステム

売上高 1,669 億円 (対前年 +1.4%)

- 日本・米国・欧州・中国の主要市場に加え、東南アジアでも販売伸長した内視鏡や、体外診断(IVD)分野での販売が好調に推移し、増収

## バイオCDMO \*収益性：27ページ 参照

売上高 481 億円 (対前年 -4.7%)

- 大型製造設備は、抗体医薬品の製造受託がデンマーク拠点で堅調に推移し、増収
- 中小型製造設備は、第1四半期に引き続き、米テキサス拠点における商用製造拡大に向けた、レギュラトリー対応力向上を目的とした品質保証システム強化や、安定生産実現のためのシステムアップグレード等対応に伴う稼働調整を実施したこと等により、減収

## LSソリューション

売上高 279 億円 (対前年 +5.8%)

- ライフサイエンスは、コロナ禍から継続していた培地の顧客在庫調整の改善が進み、受注が徐々に回復。また、細胞治療ライセンス案件のマイルストーン達成に伴う一時収入計上等により、増収
- コンシューマーヘルスケアは、サプリメント需要の低調等により、減収

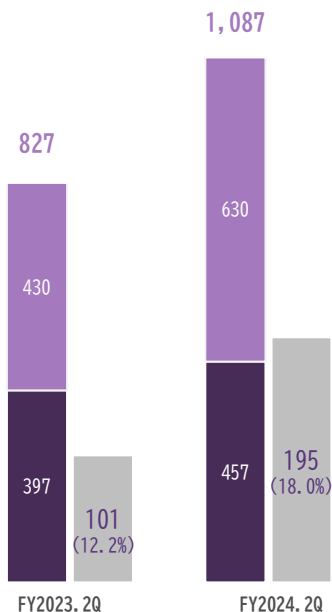
2025年3月期 第2四半期(2024年7月～2024年9月)

## セグメント別概況：エレクトロニクス

売上高は、半導体材料の市況回復や買収した半導体用プロセスケミカルの販売寄与に加え、AF材料におけるOLED向け材料の販売好調により増収。営業利益は、増収に伴い大幅増益

対前年比  
売上高 ↑+31.4%  
営業利益 ↑+94.2%

(億円)



■ | 半導体材料  
■ | AF材料

■ | 営業利益(率)

## 半導体材料

売上高 630 億円 (対前年 +46.7%)

- 先端向けがけん引する半導体市場の市況回復に加え、2023年10月に米国Entegris社から買収を完了した半導体用プロセスケミカルの販売が寄与し、売上は大幅に増加
- NTIプロセスに対応するネガ型EUVレジストとEUV現像液の販売を開始。EUVを含む先端半導体材料の開発・生産強化のため、国内外拠点に総額200億円以上を新たに投資し、半導体材料事業の成長を加速  
\*決算トピックス参照
- 国際展示会“SEMICON India 2024”において、多様な製品ラインアップを活かしたワンストップソリューションの強みを訴求

## AF材料\*

売上高 457 億円 (対前年 +14.9%)

- OLED向け反射防止材料等の受注が好調で、増収
- ファインケミカルは、試薬および市況回復傾向の重合材料等が販売好調で、増収

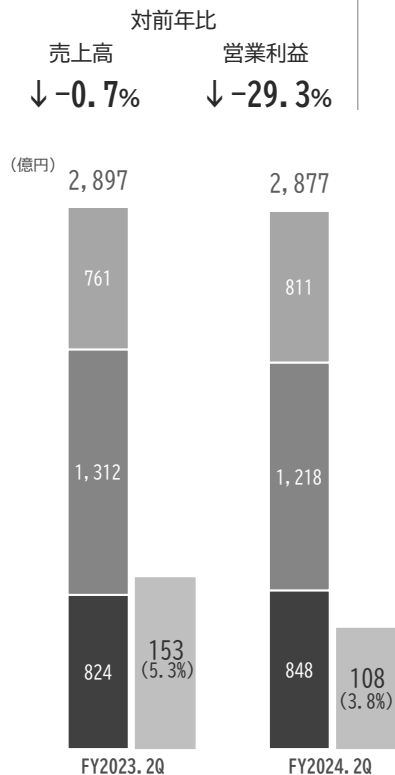
\* ディスプレイ材料、その他エレクトロニクス材料を「AF材料」へ統合して表示しています。

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

2025年3月期 第2四半期(2024年7月～2024年9月)

## セグメント別概況：ビジネスイノベーション

売上高は、複合機の主要欧米OEM顧客による在庫調整や低採算の欧米向け小型プリンターの販売終了等により減収。営業利益は、粗利減やベトナム工場の台風被害等の影響により減益



## ビジネスソリューション

売上高 811 億円

(対前年 +6.6 %)

- DX関連ソリューションの販売が増加したこと等により、増収
- 10月にDXC Technology社のオセアニアにおける基幹システム販売・導入支援事業を買収完了。IT市場の拡大が見込まれる同地域における顧客基盤を獲得し「基幹ソリューション」領域の事業基盤をさらに強化
- 10月に富士フイルムRIPCORDの完全子会社化を完了。当社の画像処理技術・AI技術やデータの利活用により、マーケットニーズに応じたきめ細やかなサービス展開を実現し、「業務ソリューション」領域における競合差別化をさらに推進

## オフィスソリューション

売上高 1,218 億円

(対前年 -7.2 %)

- 1Qに続き欧米向け消耗品の輸出が増加するも、複合機の主要欧米OEM顧客による在庫調整や欧米向け小型プリンターの低採算品種の販売終了等により、減収
- 10月よりデジタルカラー複合機「Apeos」シリーズを新たに米国、スペイン、フランスにて販売開始。それぞれ現地代理店の活用により、新たな市場における複合機の拡販を強化

## グラフィックコミュニケーション

売上高 848 億円

(対前年 +2.8 %)

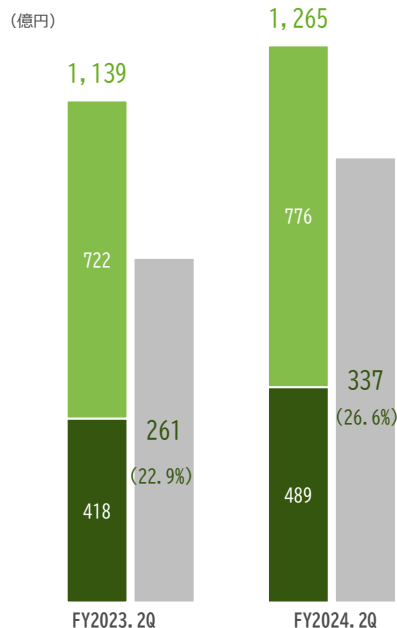
- 欧米向けデジタルプリンターの販売増、セラミック市場向けのインクジェットヘッド販売増等により、増収
- 戦略商品と位置付ける、従来の上位機種同等の特殊色が出力可能なコンパクトボディの新プロダクションプリンターの開発を推進

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリセットしています。

2025年3月期 第2四半期(2024年7月～2024年9月)

## セグメント別概況：イメージング

対前年比  
売上高 営業利益  
↑+11.0% ↑+29.2%



■ コンシューマーイメージング  
■ プロフェッショナルイメージング  
■ 営業利益(率)

## インスタントフォトシステムやデジタルカメラの販売が好調に推移し、大幅な増収・増益

## コンシューマーイメージング

売上高 776 億円 (対前年 +7.6%)

- インスタントフォトシステム、instaxの販売が好調に推移し、増収
- instaxは、従来の製品ラインアップに加え、3月発売のエントリーモデル「instax mini 12」や、7月発売のワイドフォーマットカメラ「instax WIDE 400」の販売好調が寄与
- 9月にスマートフォンの画像をカードサイズのチェキフィルムにプリントできるプリンター「instax mini Link」シリーズ 3世代目モデル「instax mini Link3」を発売

## プロフェッショナルイメージング

売上高 489 億円 (対前年 +17.0%)

- デジタルカメラは、前年度に発売したモデルに加えて、6月発売の「GFXシリーズ」および「Xシリーズ」の最新モデルの販売が好調に推移し、増収
- 11月下旬に「Xシリーズ」で最軽量\*となるミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-M5」を発売
- 9月にシネマライクな映像表現と放送用レンズの操作性を両立した放送用ズームレンズ「Duvoシリーズ」から、同シリーズ3本目で初の広角ズームレンズとなる「FUJINON HZK14-100mm」を発売

\*「Xシリーズ」現行機種において。

## 2025年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2023年 3月期末	2024年 3月期末	2025年 3月期9月末	対2024年 3月期末		2023年 3月期末	2024年 3月期末	2025年 3月期9月末	対2024年 3月期末
現金及び現金同等物	2,686	1,797	1,871	74	長短社債及び借入金	3,762	5,028	6,198	1,169
受取債権	6,331	6,966	6,179	-787	支払債務	3,204	3,465	3,828	363
棚卸資産	5,673	5,478	5,760	282	その他流動・固定負債	6,498	7,608	7,305	-303
その他流動資産	1,621	1,505	1,601	96	<b>負債計</b>	<b>13,464</b>	<b>16,101</b>	<b>17,331</b>	<b>1,229</b>
<b>流動資産計</b>	<b>16,311</b>	<b>15,746</b>	<b>15,411</b>	<b>-335</b>	株主資本計	27,631	31,692	31,569	-124
有形固定資産	9,761	13,957	15,549	1,591	非支配持分	248	41	41	0
営業権	8,583	9,538	9,333	-206	<b>純資産計</b>	<b>27,879</b>	<b>31,733</b>	<b>31,609</b>	<b>-124</b>
その他固定資産	6,688	8,593	8,647	54	<b>負債・純資産合計</b>	<b>41,343</b>	<b>47,835</b>	<b>48,940</b>	<b>1,105</b>
<b>固定資産計</b>	<b>25,032</b>	<b>32,088</b>	<b>33,529</b>	<b>1,441</b>					
<b>資産合計</b>	<b>41,343</b>	<b>47,835</b>	<b>48,940</b>	<b>1,105</b>					

(単位：円)

期末日 為替レート	2023年 3月期末	2024年 3月期末	2025年 3月期9月末	対2024年 3月期末
米ドル	134	151	143	8円高
ユーロ	146	163	159	4円高

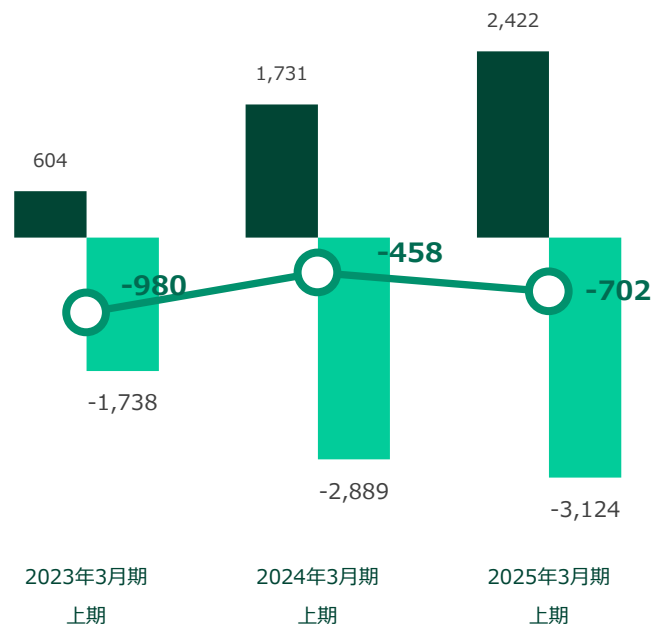


2025年3月期 上期(2024年4月~2024年9月)

## 連結キャッシュ・フロー

- キャッシュ・イン
- キャッシュ・アウト
- 事業買収除く調整フリー・キャッシュ・フロー

(億円)



(単位：億円)

	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
<b>当期純利益</b>	<b>966</b>	<b>1,127</b>	<b>1,108</b>
減価償却費	708	718	782
営業債権等の増(-)減(+)	-151	306	1,025
棚卸資産の増(-)減(+)	-894	-159	-386
営業債務等の増(+)-減(-)	106	-106	434
運転資本の増(+)-減(-)	-939	41	1,073
その他	-131	-154	-540
<b>キャッシュ・イン</b>	<b>604</b>	<b>1,731</b>	<b>2,422</b>
設備投資(有形固定資産)	-1,133	-1,885	-2,713
設備投資(ソフト、レンタル資産他)	-450	-303	-411
事業の買収	-154	-700	-
<b>キャッシュ・アウト</b>	<b>-1,738</b>	<b>-2,889</b>	<b>-3,124</b>
<b>調整フリー・キャッシュ・フロー(FCF)</b>	<b>-1,134</b>	<b>-1,158</b>	<b>-702</b>
<b>事業買収を除く調整FCF*</b>	<b>-980</b>	<b>-458</b>	<b>-702</b>

\*調整フリー・キャッシュ・フローから、事業買収を控除しています。



## 2025年3月期 連結業績予想



03

\* 本決算から、本資料における各項目の記載金額は一億円未満を四捨五入して表示する形式に変更したことにより、過去に開示した数値との若干の差異や、内訳とその合計の不一致が生じている場合があります。  
%は、実際の金額を基に算出しています。

## 2025年3月期 通期連結業績予想

(単位：億円)

	2024年3月期	2025年3月期 前回予想 (2024/8/7公表値)	2025年3月期 今回予想 (2024/11/7)	対前年度	対前回予想
売上高	29,609 100%	31,500 100%	<span>過去最高</span> <b>31,500</b> 100%	1,891 +6.4%	- -
営業利益	2,767 9.3%	3,150 10.0%	<span>過去最高</span> <b>3,150</b> 10.0%	383 +13.8%	- -
税金等調整前当期純利益	3,173 10.7%	3,300 10.5%	<span>過去最高</span> <b>3,250</b> 10.3%	77 +2.4%	-50 -1.5%
当社株主帰属当期純利益	2,435 8.2%	2,500 7.9%	<span>過去最高</span> <b>2,500</b> 7.9%	65 +2.7%	- -
EPS	202.29円	207.63円	*2 <b>207.50円</b>	+5.21円	-0.13円
ROE	8.2%	7.8%	<b>7.8%</b>	-0.4pt	-
ROIC	5.6%	5.4%	<b>5.4%</b>	-0.2pt	-
CCC	116日	115日	<b>115日</b>	-1日	-
為替 <sup>*1</sup> ：米ドル	145円	148円	<b>149円</b>	4円安	1円安
：ユーロ	157円	162円	<b>163円</b>	6円安	1円安
銀価格 (/kg)	109,000円	151,000円	<b>148,000円</b>	+39,000円	-3,000円

\*1 | 為替レート： 3-4Q 米ドル=145円 | 対前回±0円, ユーロ=160円 | 対前回±0円  
通期 米ドル=149円 | 対前回+1円, ユーロ=163円 | 対前回+1円

\*2 | EPS(1株当たり当社株主帰属当期純利益)の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年9月30日現在の発行株式数(自己株式数を除く)を使用しています。

## セグメント別業績予想

(単位：億円)

売上高	2024年3月期	2025年3月期 前回予想 (2024/8/7公表値)	2025年3月期 今回予想 (2024/11/7)	対前回予想		為替影響除く	
ヘルスケア	9,751	10,100	10,100	-	-	-35	-0.3%
エレクトロニクス	3,584	4,200	4,300	100	2.4%	85	2.0%
ビジネスイノベーション	11,578	12,100	11,900	-200	-1.7%	-220	-1.8%
イメージング	4,697	5,100	5,200	100	2.0%	80	1.6%
合計	29,609	31,500	31,500	-	-	-90	-0.3%

(単位：億円)

営業利益	2024年3月期	2025年3月期 前回予想 (2024/8/7公表値)	2025年3月期 今回予想 (2024/11/7)	対前回予想		為替影響除く	
ヘルスケア	974	1,000	1,000	-	-	-5	-0.5%
エレクトロニクス	463	720	740	20	2.8%	15	2.1%
ビジネスイノベーション	674	730	680	-50	-6.8%	-50	-6.8%
イメージング	1,020	1,120	1,150	30	2.7%	20	1.8%
本社/連結調整	-364	-420	-420	-	-	-	-
合計	2,767	3,150	3,150	-	-	-20	-0.6%

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。  
また、それに伴いセグメント単位での一体運営が進んだ状態を鑑み、各セグメントの売上高及び営業利益をセグメント間取引消去後の金額に変更しております。  
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

## 2025年3月期 第2四半期 決算 参考資料

# 04

\* 本決算から、本資料における各項目の記載金額は一億円未満を四捨五入して表示する形式に変更したことにより、過去に開示した数値との若干の差異や、内訳とその合計の不一致が生じている場合があります。  
%は、実際の金額を基に算出しています。

## 2Q | 上期業績

(単位：億円)

売上高	2Q						上期					
	2024年3月期	2025年3月期	対前年度		為替影響除く		2024年3月期	2025年3月期	対前年度		為替影響除く	
<b>ヘルスケア</b>	<b>2,414</b>	<b>2,429</b>	<b>15</b>	<b>+0.6%</b>	<b>-36</b>	<b>-1.5%</b>	<b>4,482</b>	<b>4,720</b>	<b>238</b>	<b>+5.3%</b>	<b>8</b>	<b>+0.2%</b>
メディカルシステム	1,646	1,669	23	+1.4%	-10	-0.6%	3,047	3,246	199	+6.5%	54	+1.8%
バイオCDMO	505	481	-24	-4.7%	-38	-7.6%	914	952	39	+4.2%	-29	-3.1%
LSソリューション	264	279	15	+5.8%	11	+4.3%	522	522	1	+0.1%	-18	-3.4%
<b>エレクトロニクス</b>	<b>827</b>	<b>1,087</b>	<b>260</b>	<b>+31.4%</b>	<b>241</b>	<b>+29.2%</b>	<b>1,618</b>	<b>2,178</b>	<b>560</b>	<b>+34.6%</b>	<b>464</b>	<b>+28.7%</b>
半導体材料	430	630	201	+46.7%	187	+43.6%	835	1,253	418	+50.0%	341	+40.9%
AF材料	397	457	59	+14.9%	54	+13.6%	783	925	142	+18.1%	123	+15.7%
<b>ビジネスイノベーション</b>	<b>2,897</b>	<b>2,877</b>	<b>-20</b>	<b>-0.7%</b>	<b>-61</b>	<b>-2.1%</b>	<b>5,593</b>	<b>5,677</b>	<b>84</b>	<b>+1.5%</b>	<b>-98</b>	<b>-1.8%</b>
ビジネスソリューション	761	811	50	+6.6%	39	+5.2%	1,444	1,519	75	+5.2%	40	+2.8%
オフィスソリューション	1,312	1,218	-94	-7.2%	-109	-8.3%	2,571	2,486	-85	-3.3%	-155	-6.0%
グラフィックコミュニケーション	824	848	23	+2.8%	9	+1.1%	1,578	1,672	94	+6.0%	17	+1.1%
<b>イメージング</b>	<b>1,139</b>	<b>1,265</b>	<b>126</b>	<b>+11.0%</b>	<b>98</b>	<b>+8.6%</b>	<b>2,192</b>	<b>2,572</b>	<b>380</b>	<b>+17.4%</b>	<b>238</b>	<b>+10.8%</b>
コンシューマーイメージング	722	776	55	+7.6%	36	+4.9%	1,354	1,522	168	+12.4%	76	+5.6%
プロフェッショナルイメージング	418	489	71	+17.0%	63	+15.0%	837	1,050	213	+25.4%	161	+19.3%
売上高合計	7,277	7,657	380	+5.2%	242	+3.3%	13,885	15,147	1,263	+9.1%	612	+4.4%

(単位：億円)

営業利益 【営業利益率】	2Q						上期					
	2024年3月期	2025年3月期	対前年度		為替影響除く		2024年3月期	2025年3月期	対前年度		為替影響除く	
<b>ヘルスケア</b>	<b>315</b>	<b>188</b>	<b>-127</b>	<b>-40.3%</b>	<b>-138</b>	<b>-44.0%</b>	<b>418</b>	<b>222</b>	<b>-196</b>	<b>-46.9%</b>	<b>-243</b>	<b>-58.2%</b>
	[13.0%]	[7.7%]					[9.3%]	[4.7%]				
<b>エレクトロニクス</b>	<b>101</b>	<b>195</b>	<b>95</b>	<b>+94.2%</b>	<b>89</b>	<b>+88.1%</b>	<b>198</b>	<b>396</b>	<b>198</b>	<b>+99.9%</b>	<b>167</b>	<b>+84.5%</b>
	[12.2%]	[18.0%]					[12.2%]	[18.2%]				
<b>ビジネスイノベーション</b>	<b>153</b>	<b>108</b>	<b>-45</b>	<b>-29.3%</b>	<b>-47</b>	<b>-30.7%</b>	<b>319</b>	<b>253</b>	<b>-66</b>	<b>-20.8%</b>	<b>-88</b>	<b>-27.7%</b>
	[5.3%]	[3.8%]					[5.7%]	[4.5%]				
<b>イメージング</b>	<b>261</b>	<b>337</b>	<b>76</b>	<b>+29.2%</b>	<b>59</b>	<b>+22.5%</b>	<b>495</b>	<b>662</b>	<b>167</b>	<b>+33.8%</b>	<b>96</b>	<b>+19.5%</b>
	[22.9%]	[26.6%]					[22.6%]	[25.7%]				
<b>全社</b>	<b>-96</b>	<b>-94</b>	<b>2</b>	<b>+0.1%</b>	<b>2</b>	<b>-1.7%</b>	<b>-175</b>	<b>-177</b>	<b>-2</b>	<b>+0.1%</b>	<b>-1</b>	<b>-0.6%</b>
	[10.1%]	[9.6%]					[9.0%]	[9.0%]				
<b>営業利益合計</b>	<b>733</b>	<b>734</b>	<b>1</b>	<b>+0.1%</b>	<b>-36</b>	<b>-4.9%</b>	<b>1,255</b>	<b>1,356</b>	<b>101</b>	<b>+8.0%</b>	<b>-69</b>	<b>-5.5%</b>
	[10.1%]	[9.6%]					[9.0%]	[9.0%]				

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。  
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリスタートしています。

## 四半期別業績推移

(単位: 億円)

売上高	2024年3月期				2025年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
<b>ヘルスケア</b>	<b>2,068</b>	<b>2,414</b>	<b>2,425</b>	<b>2,844</b>	<b>2,292</b>	<b>2,429</b>
メディカルシステム	1,401	1,646	1,647	1,902	1,577	1,669
バイオCDMO	409	505	503	618	471	481
LSソリューション	258	264	275	324	243	279
<b>エレクトロニクス</b>	<b>791</b>	<b>827</b>	<b>940</b>	<b>1,026</b>	<b>1,091</b>	<b>1,087</b>
半導体材料	405	430	550	612	623	630
AF材料	386	397	390	414	468	457
<b>ビジネスイノベーション</b>	<b>2,696</b>	<b>2,897</b>	<b>2,810</b>	<b>3,175</b>	<b>2,800</b>	<b>2,877</b>
ビジネスソリューション	684	761	716	857	708	811
オフィスソリューション	1,259	1,312	1,282	1,391	1,268	1,218
グラフィックコミュニケーション	754	824	812	927	825	848
<b>イメージング</b>	<b>1,052</b>	<b>1,139</b>	<b>1,494</b>	<b>1,011</b>	<b>1,307</b>	<b>1,265</b>
コンシューマーイメージング	633	722	1,025	596	746	776
プロフェッショナルイメージング	420	418	469	415	561	489
売上高合計	6,608	7,277	7,669	8,055	7,490	7,657

(単位: 億円)

営業利益	2024年3月期				2025年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
ヘルスケア	103	315	184	371	34	188	
エレクトロニクス	98	101	136	129	201	195	
ビジネスイノベーション	166	153	166	189	144	108	
イメージング	234	261	395	131	325	337	
全社	-78	-96	-88	-102	-82	-94	
営業利益合計	522	733	794	718	622	734	
為替レート(期中平均)	ドル	138	145	148	149	156	149
	ユーロ	150	157	159	161	168	164

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。  
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

## 営業利益増減分析(2Q実績 対前年実績)

(単位:億円)

	2Q			オペレー ション等	為替	原材料 価格	(b-a) 一時費用	(a)		(b)		事業	内容
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年					2024年 3月期	2025年 3月期				
ヘルスケア	315	188	-127	-81	12	-10	-48	-3	-51				
							-50	-	-50	バイオCDMO		商用製造体制強化(米テキサス拠点)	
							2	-3	-1	他		その他	
エレクトロニクス	101	195	95	90	6	-4	2	-10	-8				
							2	-10	-8	半導体材料		新規買収会社	
ビジネスイノベーション	153	108	-45	-35	2	-8	-4	-8	-12				
							5	-6	-1	グラフィックコミュニケーション		体質強化費用等	
							-5	-	-5	グラフィックコミュニケーション		係争費用他	
							-5	-	-5	オフィスソリューション		ベトナム工場台風影響等	
							1	-2	-1	他		その他	
イメージング	261	337	76	65	17	-6	-1	-3	-4				
							-1	-2	-3	イメージング		体質強化費用等	
							-	-1	-1	他		その他	
全社/連結調整	-96	-94	2	2	-1	-	-	-	-				
合計	733	734	1	42	37	-27	-51	-24	-75				
為替レート	米ドル	145円	149円	4円安	銀	-15							
	ユーロ	157円	164円	7円安	アルミ	-8							
					他(燃料等)	-3							

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。  
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリスタートしています。



## 2025年3月期 通期連結業績予想

## 事業別売上高

(単位:億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 前回予想(2024/8/7)	2025年3月期 今回予想(2024/11/7)	対前年度		対前回予想	
<b>ヘルスケア</b>	<b>9,751</b>	<b>10,100</b>	<b>10,100</b>	<b>349</b>	<b>+3.6%</b>	-	-
メディカルシステム	6,596	6,900	6,900	304	+4.6%	-	-
バイオCDMO	2,034	2,000	2,000	-34	-1.7%	-	-
LSソリューション	1,121	1,200	1,200	79	+7.1%	-	-
<b>エレクトロニクス</b>	<b>3,584</b>	<b>4,200</b>	<b>4,300</b>	<b>716</b>	<b>+20.0%</b>	<b>100</b>	<b>+2.4%</b>
半導体材料	1,997	2,450	2,500	503	+25.2%	50	+2.0%
* AF材料	1,587	1,750	1,800	213	+13.4%	50	+2.9%
<b>ビジネスイノベーション</b>	<b>11,578</b>	<b>12,100</b>	<b>11,900</b>	<b>323</b>	<b>+2.8%</b>	<b>-200</b>	<b>-1.7%</b>
ビジネスソリューション	3,018	3,300	3,300	282	+9.4%	-	-
オフィスソリューション	5,244	5,350	5,200	-44	-0.8%	-150	-2.8%
* グラフィックコミュニケーション	3,316	3,450	3,400	84	+2.5%	-50	-1.4%
<b>イメージング</b>	<b>4,697</b>	<b>5,100</b>	<b>5,200</b>	<b>503</b>	<b>+10.7%</b>	<b>100</b>	<b>+2.0%</b>
コンシューマーイメージング	2,976	3,100	3,150	174	+5.9%	50	+1.6%
プロフェッショナルイメージング	1,721	2,000	2,050	329	+19.1%	50	+2.5%
<b>合計</b>	<b>29,609</b>	<b>31,500</b>	<b>31,500</b>	<b>1,891</b>	<b>+6.4%</b>	-	-
<b>為替</b>							
米ドル	145円	148円	149円	4円安		1円安	
ユーロ	157円	162円	163円	6円安		1円安	

\* ディスプレイ材料、その他エレクトロニクス材料を「AF材料」へ統合して表示しています。

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。  
本区分変更にあわせ、2024年3月期の情報をリセットしています。

## 営業利益増減分析(通期業績予想 対前回業績予想)

(単位: 億円)

	前回予想	今回予想	対前回予想	オペレー ション等	為替	原材料 価格	(b-a)	(a)	(b)	事業	内容
	2024/8/7	2024/11/7					一時費用	前回予想	今回予想		
ヘルスケア	1,000	1,000	-	-5	5	-	-	-155	-155		
								-	-50	バイオCDMO	構造改革費用
								-	-130	バイオCDMO	商用製造体制強化(米テキサス拠点)
								-	-13	メディカルシステム	FHC国内営業部門統合費用
								-	38	他	遊休資産売却他
エレクトロニクス	720	740	20	15	5	-	-	-25	-25		
								-	-30	半導体材料	新規買収会社
								-	-15	AF材料	体質強化費用等
								-	20	他	遊休資産売却他
ビジネスイノベーション	730	680	-50	-45	-	-	-5	-35	-40		
								-	-20	グラフィックコミュニケーション	体質強化費用等
								-	-25	グラフィックコミュニケーション	係争費用他
							-5	-	-5	オフィスソリューション	ベトナム工場台風影響等
							-	10	10	他	遊休資産売却他
イメージング	1,120	1,150	30	20	10	-	-	5	5		
								-	-15	イメージング他	体質強化費用等
								-	20	他	遊休資産売却他
全社/連結調整	-420	-420	-	-	-	-	-	-	-		
合計	3,150	3,150	-	-15	20	-	-5	-210	-215		
為替レート	米ドル	148円	149円	1円安	銀	-					
	ユーロ	162円	163円	1円安	アルミ	-					
					他(燃料等)	-					

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。  
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

## バイオCDMO収益性(2Q実績 対前年実績、通期業績予想 対前年実績)

**2Qの一時費用除く収益性(EBITDAマージン) は、前年同期並み  
中小型製造設備は、構造改革効果により通期で黒字化を見込む**

(単位：億円)

バイオCDMO	2Q			通期		
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度	2024年 3月期	2025年 3月期 (今回予想 2024/11/7)	対前年度
売上高	505	481	-24	2,034	2,000	-34
棚卸資産評価減				-50		50
構造改革費用					-50	-50
米子拠点における商用製造体制強化		-50	-50		-130	-130
一時費用合計	-	-50	-50	-50	-180	-130
一時費用除くEBITDAマージン	10%台半ば	10%台半ば	-	10%台半ば	10%台後半	-
内) 大型製造設備	30%台前半	30%台前半	-	約30%	約30%	-
内) 中小型製造設備	マイナス一桁%	マイナス一桁%	-	ブレイクイーブン	一桁%半ば	-

## 国内・海外別連結売上高

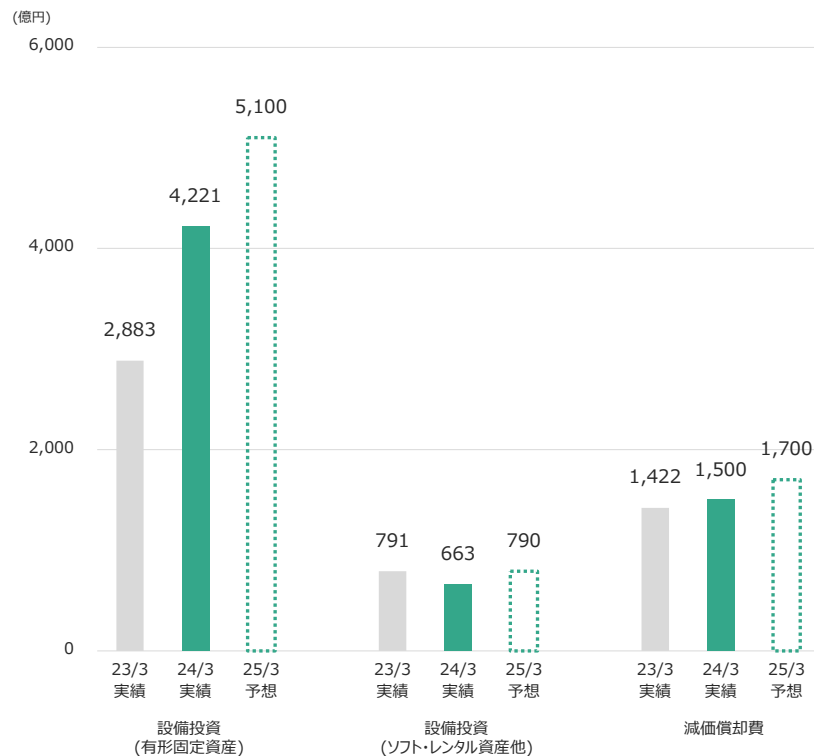
(単位：億円)

	2024年3月期 上期		2025年3月期 上期		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	36.1%	5,011	33.3%	5,048	37	+0.7%
米州	22.0%	3,052	20.4%	3,093	41	+1.4%
欧州	14.3%	1,980	16.7%	2,536	556	+28.1%
内、中国	13.8%	1,923	15.1%	2,280	358	+18.6%
アジア他	27.6%	3,842	29.6%	4,471	629	+16.4%
海外	63.9%	8,874	66.7%	10,100	1,226	+13.8%
合計	100.0%	13,885	100.0%	15,147	1,263	+9.1%

## 設備投資 | 減価償却費

## 設備投資 | 減価償却費

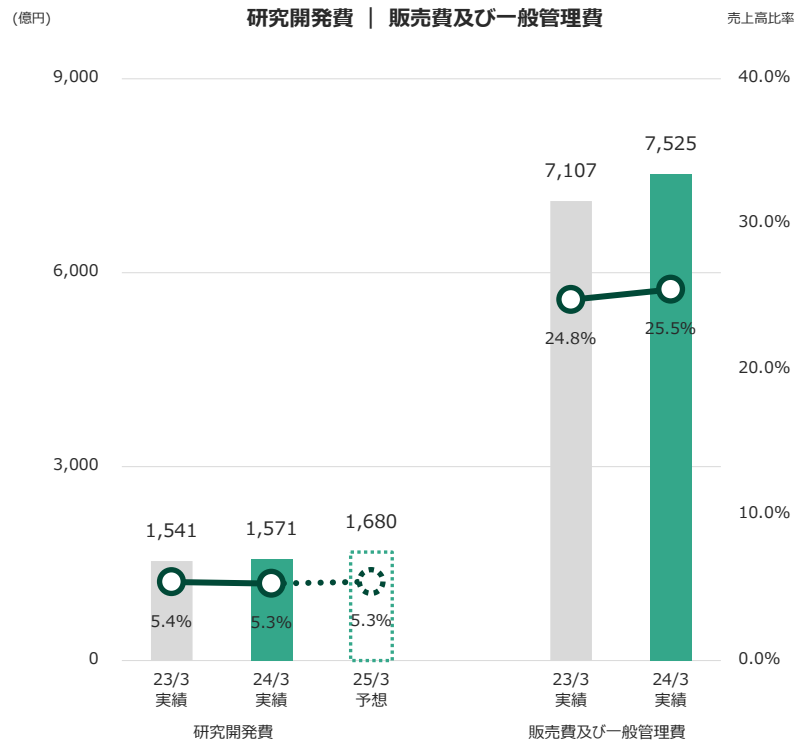
(単位：億円)



年度	2Q		上期		通期	
	2024年 3月期	2025年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)
ヘルスケア	836	1,335	1,598	2,348	3,473	3,950
エレクトロニクス	74	100	122	185	362	620
ビジネスイノベーション	75	58	117	114	272	330
イメージング	19	30	42	60	101	180
コーポレート	2	4	6	7	13	20
設備投資(有形固定資産)	1,006	1,527	1,885	2,713	4,221	5,100
ヘルスケア	43	43	81	80	142	120
エレクトロニクス	6	4	9	6	20	20
ビジネスイノベーション	91	88	161	279	414	500
イメージング	14	22	20	31	49	70
コーポレート	19	11	26	15	38	80
設備投資(ソフト、レンタル資産他)	173	169	297	411	663	790
ヘルスケア	135	141	267	286	568	630
エレクトロニクス	58	75	114	151	258	330
ビジネスイノベーション	124	129	241	256	483	510
イメージング	34	34	68	75	148	170
コーポレート	7	7	29	14	43	60
減価償却費	358	386	718	782	1,500	1,700

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。  
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

# 研究開発費 | 販売費及び一般管理費



(単位：億円)

	2Q		上期		通期	
	2024年 3月期	2025年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)
ヘルスケア	145	153	278	300	557	
エレクトロニクス	69	59	134	128	264	
ビジネスイノベーション	133	135	267	272	539	
イメージング	25	31	51	57	111	
コーポレート	26	26	54	49	100	
研究開発費	398	404	784	806	1,571	1,680
<売上高比>	5.5%	5.3%	5.6%	5.3%	5.3%	5.3%
販売費及び一般管理費	1,821	1,993	3,544	4,054	7,525	
<売上高比>	25.0%	26.0%	25.6%	26.7%	25.5%	

\* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。  
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリセットしています。

## 為替 | 原材料 | 人員

## 為替(平均) | 原材料価格(平均)

単位	2024年3月期					2025年3月期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	下期	通期	
米ドル	円/ドル	138	145	148	149	145	156	149	152	145	149
ユーロ	円/ユーロ	150	157	159	161	157	168	164	166	160	163
銀	千円/kg	106	110	111	110	109	143	144	143	155	148

## 為替感応度：1円の変動による影響(年間)

最終更新日：2024/4/17

		売上高	営業利益
米ドル	1円あたり	+50 億円	+10 億円
ユーロ	1円あたり	+15 億円	+ 8 億円

## 人員

単位	2023.3末	2023.6末	2023.9末	2023.12末	2024.3末	2024.6末	2024.9末
連結	人	73,878	73,583	72,909	72,950	72,254	72,929
							72,989

## 参考情報

---

### ■ 富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>

### ■ 富士フイルムホールディングス 統合報告書2024

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>

### ■ IR資料室

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>

### ■ 富士フイルムグループ事業概要

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/business-overview.html>

### ■ 富士フイルムグループ90周年特設サイト

<https://holdings.fujifilm.com/special/90th/ja/>



# 「統合報告書2024」発行



編集方針「イノベーションを軸とした価値創造ストーリー」を発展させ  
「社会にどのようなインパクトをもたらさうか」という問いを掲げて制作



## グループパーパスの実現に向けた道筋を詳述

### 主なコンテンツ

- グループパーパスの浸透に向けた取り組み
- 中長期の機会・リスクを踏まえた、2030年度のゴールに向けた経営計画の全体像
- 特集「バイオCDMO事業の軌跡と今後の展望」
- 当社の持続的成長を支える非財務資本やリスクマネジメントを含むガバナンス体制



富士フイルム 統合報告書



検索

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>



富士フイルムグループパーパス

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、  
様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、世界をひとつずつ変えていきます。

富士フイルムホールディングス株式会社  
コーポレートコミュニケーション部

<https://holdings.fujifilm.com/ja>

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

**FUJIFILM**  
Value from Innovation